

単元案の概要

テーマ
学校紹介動画を作り、中国語で紹介しよう
目標
<p>学習レベル 1～2</p> <p>・中国の姉妹校の生徒たちに橋本高校のことを紹介する動画を作成し、中国語で紹介することができる。</p>
コミュニケーション指標
<p>（自分と身近な人びと）</p> <p>1-a 名前（姓名）や属性（高校生であること、学年、年齢、誕生日など）を言ったり、尋ねたりできる。</p> <p>1-c 簡単な自己紹介（干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など）を、口頭でまたは書いてすることができる。</p> <p>（学校生活）</p> <p>1-a 学校の名前や所在地（都道府県や市など）を、言ったり書いたりできる。</p> <p>1-d 学校のこと（制服、給食、宿題や施設の有無など）について、口頭でやりとりできる。</p> <p>1-g 自分が学習している科目名や学校の施設名を、書いて伝えることができる。</p> <p>2-b 学校の簡単な概要（共学、中高一貫、全校／クラスの生徒数、男女別人数、時間割など）を説明した、簡単な資料を作ることができる。</p> <p>2-c 休み時間や放課後の過ごし方（クラブ活動、生徒会活動、清掃など）について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>2-d 学校のスケジュール（1日、週間、年間）について、口頭でまたは書いてやりとりできる。</p> <p>3-d 自分の学校の行事（行事名、時期、内容など）について、口頭でまたは文章にして紹介することができる。</p>
学習シナリオ
<p>【場面状況】</p> <p>10月に中国の姉妹校へ訪問します。姉妹校の生徒に、橋本高校や学校生活のことを紹介する動画を作成し、中国語で紹介することになりました。橋本高校の特徴がよくわかるように動画と紹介文を作成してください。</p>

【活動の流れ】

- ① 4人のグループに分かれ、テーマを決める。
校内の施設紹介、学校行事、クラブ活動、時間割など
- ② 各グループで実施計画を立てる。
- ③ 動画を撮影する。
- ④ 写真を使って動画を作成する。動画の長さは1人2～3分とし、全員が発表できるように、分担を決める。
- ⑤ 必要な語いや表現を調べる。（語いリストを作成→提出→教師による添削）

*タブレットを利用してインターネットで調べる
- ⑥ 中国語の台本を作成する。（→提出→教員による添削）
- ⑦ 台本の中国語を、正確な発音と声調で読めるように練習をする。
- ⑧ 地元に住む中国人に来てもらい、動画を提示し、橋本高校の紹介を行う。

その後、中国のことを紹介してもらい、日本と中国で似ている点、異なる点など話し、相手の文化や習慣を理解する。
- ⑨ 生徒同士も自己評価や、相互評価を行い、その結果を参考にする。

総括的評価

- ・テーマに沿った内容の動画ができているか。
- ・中国語で作成した台本が、オーディエンスに伝わるか。
- ・発表後の自己評価。

評価

- 1 発表でルーブリック指標を用いながら行う
- 2 2学期中間テスト（または授業内）で、語いリストから抽出した単語テストを行う
- 3 自己評価（目的意識を持てたか、積極的に取り組めたか、共同作業できたかなど）

形成的評価 提出物

- 1 実施計画表
- 2 語彙リスト
- 3 シナリオ
- 4 動画
- 5 自己評価表

学校紹介動画を作成しよう

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のことがらに関連する必要な語彙や表現を覚える。 ・プレゼンテーションに必要な語彙や表現 ・テーマごとに必要な語彙や表現 ・あいさつやお礼のことば 	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマについて、文化の相違や興味関心を考え、どのようなテーマがよいかを考える。 ・プレゼンに対する相手の反応や質問から、自文化との違いや関係性に気づいたり、推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PPTで写真を使って情報を整理して話すと、わかりやすく効果的であることがわかる。 ・相手に伝えるために言葉以外のツールの重要性を知る。
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとのスライドに中国語で説明を書いたり、台本を作成することができる。 ・正確な発音と表現でプレゼンすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国と日本の学校生活の、共通点、相違点について分析することができる。 ・文化の比較、分析を通して、自文化を再認識し、その背景にある考え方や価値などを探求し、自分の考えを表明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで協力して、動画の撮影を行い、プレゼンすることができる。 ・パソコンの中国語翻訳ソフトを使って、中国語の表現を調べることができる。 ・ビデオやパソコンを操作する技術を身につけることができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介を中国語で行うことにより、日本語と中国語の語いや表現の似た点や異なる点を理解し、歴史的な中国とのつながりを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンのあとの質問や交流を通して、文化や習慣の違いを相互理解でき、異文化理解につながる。 	
三連携	<p>連携1（学習者）：・グループで相談したり、助け合いながら作業を進める</p> <p>連携2（教室外）：・校内の特別教室、食堂、クラブ活動での取材</p> <p>連携3（他教科）：・情報科（パソコンの使用、パワーポイントの作成）</p>		

目標の要素分解

タスク	小目標	中目標	大目標
学校を紹介するためにテーマを考える	グループごとにテーマを決める	テーマを決める	学校紹介動画を作成し、 中国の生徒に紹介する。 ・身近な学校や学校生活を中国語で表現できる ・自国の文化を振り返る ・情報機器の活用 ・グループで協力しながら作業ができる
実施計画を立てる どのような構成にするか どのような写真を使うか	見てわかりやすい視覚にうったえるスライドを作成する	スライドを作成する	
写真を撮ったり、データを集める			
1人2～3分の動画を撮影する			
動画を合わせて（グループごとに）完成させる。			
【形成的評価】 見やすい動画になっているか、チェックする			
紹介文に必要な語彙や表現をリストにする	既習事項を使ったり、インターネットで調べて中国語で紹介文を作成する	中国語の台本作成	
動画に合わせて、日本語で紹介文を作成する			
日本語でまとめた紹介文を中国語に直す			
【形成的評価】 語いリスト、台本を提出し、チェックする			
単語の発音練習をする	正しい発音と声調を意識して読む。	パソコンを使ってプレゼンをする	
文章に抑揚をつけて読む練習をする			
台本を見ないで発表できるように暗記を心がける	正確な中国語を使いながら、パフォーマンスができる		
アイコンタクトやジェスチャーを取り入れ発表の練習をする			
クラスメートの発表を聞いてコメントを書く			
【総括的評価】 ルーブリックに従って各グループの発表を評価する			

評価ルーブリック

テーマ：中国の姉妹校の生徒に学校紹介動画を作成し、中国語で紹介しよう

指示文：中国姉妹校交流で訪問する中国の高校生に学校紹介動画を作成し中国語で紹介します。グループでテーマを決め、動画1人2～3分作成し、中国語で台本を作成してください。プレゼンテーションではメンバー全員が発表できるように分担してください。発表は正確で聞き取りやすい発音と声調を心がけてください。動画の紹介プレゼンテーションで評価します。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
台本の中国語	動画にあった台本であり、表現も豊かで、説明がわかりやすい。	動画にあった台本であり、説明がわかりやすい。	動画と説明に少し食い違いが見られるが、説明はおおむね分かる。	動画と説明が合っておらず、説明がわかりにくい。
中国語の表現	声調、発音に気をつけて、中国語らしい発音ができている。非ははっきりした大きな声で聞き取りやすい。	声調や発音の正確さは少し欠けるが、中国語らしい発音を心がけ、はっきりした大きな声で、聞き取りやすい。	声調や発音の正確さは欠けるが中国語らしい発音をしようと努力が見られる。声は大きくて、聞き取りやすい。	声調や発音の正確に欠ける。声が小さい。
動画の内容と見やすさ	テーマに合った内容で、人物の動きや構成のバランスがよく、非常に見やすい。発表を非常にわかりやすいものにしてしている。	テーマに合った内容で、人物の動きや構成のバランスがよく、見やすい。発表をわかりやすいものにしてしている。	テーマに合った内容だが、人物の動きや構成のバランスが少しわかりづらい。発表をわかりやすいものにしてしている。	内容がテーマに合っておらず、わかりにくい。発表の内容を助けるものとなっていない。
アイコンタクト	台本を見ることなく、常にアイコンタクトを保ち、表情も豊かである。聴衆に伝えようと努力している。	時々台本を見るが、聴衆とアイコンタクトを保ち、表情も豊かである。聴衆に伝えようと努力している。	ほとんどアイコンタクトができず、台本を読んでいることが多い。聴衆に伝えようとする努力が少し足りない。	聴衆とのアイコンタクトはなく、常に台本を読んでいる。聴衆に伝えようとする努力があまり見られない。
協働作業	テーマや構成を決めたり、動画撮影や編集など、全ての過程において、グループのメンバーと話し合い、協力しながら作業ができた。	テーマや構成を決めたり、動画撮影や編集など、グループのメンバーとの話し合い、協力しながら作業ができた。	テーマや構成を決めたり、動画撮影や編集など、グループのメンバーとの話し合い、協力しながら作業があまりできなかった。	テーマや構成を決めたり、動画撮影や編集など、グループのメンバーとの話し合い、協力しながら作業が全くできなかった。